社員の健康に関する中期目標・実績

当社では、健康経営の推進にあたり各種指標の数値目標を設定し、その実現に向けたCAPDを実践しています。
2023年度から2025年度にかけては、社員一人ひとりの健康行動の促進を目的として、国内グループ全社で健康管理プラットフォーム（健康アプリ）を活用し、多様なイベントを企画・推進してきました。また、職場ごとの課題や状況に応じた改善活動を促進するため、職場リーダーを対象とした「ココロとカラダの健康づくりワークショップ」を職種別に実施し、社員個人と職場の両面から健康づくりの推進を強化しています。加えて、健康リスクの高い社員への早期対応と、低リスク層の健康維持を目的に、国内グループ全社の健康管理業務を一体的に運営し、健康診断後の全社員へのアプローチ（メールを含む保健指導）や保健師によるフォロー体制を強化し、さらに職場ごとの健康講話の実施を通じて、保健師との関係構築と早期相談の促進に取り組んでいます。その結果、社員の意識変容および行動変容に関するすべての指標が改善しました。これらの指標の改善により健康管理不良者率や身体不調者率の低減、ワークエンゲージメントの向上につながっています。今後は、①職場環境の改善②健康行動の促進③健康状態の維持・改善④事業場ごとの浸透強化を重点テーマとして、施策および体制のさらなる強化を図り、中期目標（ワークエンゲージメント5.20以上、プレゼンティーズム36.4以下、アブセンティーズム1.84以下）の達成に向けて取り組んでまいります。

カテゴリー		項目	集計範囲	単位				目標
					2023年度	2024年度	2025年度	2030年度
健康風土醸成に関する指標		健康経営の理解※1	国内グループ	%	19.8	30.2	28.3	34.4以上
		健康経営の評価※1	国内グループ	%	75.2	77.1	79.6	81.1以上
		健康に配慮している人の割合※2	国内グループ	%	63.9	72.0	67.9	72.0以上
健康投資施策の取り組み状況に関する指標	カラダの健康づくり	社員健康管理プラットフォーム登録率	国内グループ	%	37.4	51.6	57.8	65.0以上
		定期健康診断受診率	国内6社	%	100.0	100.0	100.0	100.0
		精密検査受診率	国内6社	%	80.4	80.6	77.4	100.0
		特定保健指導実施率	国内グループ	%	59.8	57.4	（今後）	65.0以上
		保健指導実施率	国内6社	%	100.0	100.0	100.0	100.0
	ココロの健康づくり	ストレスチェック受検率	国内6社	%	99.3	99.3	98.9	100.0
		高ストレス者面談アプローチ率	国内6社	%	100.0	100.0	100.0	100.0
	ココロとカラダの健康づくり	ココロとカラダの健康づくりワークショップ参加リーダー数	国内グループ	人	317	283	250	300以上
		ココロとカラダの健康づくりワークショップ参加リーダー満足度	国内グループ	%	90.8	91.3	86.2	90.0以上
		女性特有の健康課題研修受講者数	国内グループ	人	2,390	1,930	2,814	2,500以上
		女性特有の健康課題研修満足度	国内グループ	%	91.2	91.9	90.7	90.0以上
		健康相談件数	国内グループ	件	3,069	6,804	7,024	ー
		健康講話実施回数	国内グループ	回	169	174	167	100以上
		労働時間の状況（時間外平均/月）	ダイセル単体	時間/月	20.1	18.4	19.7	20.0以下
		休暇取得の状況	ダイセル単体	%	82.5	84.9	80.9	80.0以上
社員の意識変容・行動変容に関する指標	[a]職場・個人健康資本	職場のイエルキケルスコア※3	国内6社	点	2.96	2.96	2.98	2.98以上
		職場の動機づけスコア※4	国内6社	点	2.74	2.74	2.76	2.76以上
		職場の働きやすさスコア※5	国内6社	点	2.72	2.72	2.73	2.73以上
		ヘルスリテラシー※6	国内6社	点	3.67	3.65	3.67	3.72以上
	[b]健康行動	健康行動スコア※7	国内グループ	点	3.33	3.43	3.46	3.57以上
		健康管理不良者治療率※8	国内グループ	%	70.6	74.7	75.5	80.0以上
健康関連の最終的な目的指標	[c]健康状態	内臓脂肪型肥満リスク者率※9	国内グループ	%	21.2	23.2	23.4	21.2以下
		健康管理不良者率※10	国内グループ	%	11.8	11.4	11.0	11.0以下
		身体不調者率※11	国内6社	%	25.1	25.1	23.9	23.0以下
		高ストレス者率	国内6社	%	8.9	9.5	8.8	8.8以下
	[d]業務パフォーマンス	ワークエンゲージメント※12	国内6社	点	4.94	4.95	4.98	5.20以上
		プレゼンティーズム※13	国内6社	%	36.3	37.3	37.2	36.4以下
		アブセンティーズム※14	ダイセル単体	%	2.08	1.84	2.09	1.84以下
	その他	離職の状況	ダイセル単体	%	1.7	1.8	1.8	ー
		一人当たり生活習慣病・メンタル系疾患に関する医療費	国内グループ	千円	31	33	（今後）	27以下

※1 社員が、健康経営を理解しているか、また会社の健康経営の取り組みを評価しているかを測る指標。健康づくりアンケート結果を基に該当社員割合を算出（数値が高いほど良い）
※2 社員が、自分自身の健康に配慮しているかを測る指標。健康づくりアンケート結果を基に該当社員割合を算出（数値が高いほど良い）
※3 社員が、どれほどの心理的安全性を感じながら働けているかを測る指標。ストレスチェックの8つの尺度を基に算出（1～4点で評価、数値が高いほど良い）
※4 社員が、どれほどのモチベーションの高まる環境で働けているかを測る指標。ストレスチェックの7つの尺度を基に算出　（1～4点で評価、数値が高いほど良い）
※5 社員が、どれほどの働きやすい環境で働けているかを測る指標。ストレスチェックの17つの尺度を基に算出（1～4点で評価、数値が高いほど良い）
※6 健康管理・増進のために必要な健康情報を入手、理解、評価、活用することのできる力を測る指標（1～5点で評価、数値が高いほど良い）
※7 問診結果を基に、「運動」「食事」「睡眠」「減酒」「禁煙」「体重」の望ましい健康行動がどれほどとれているかを各0～1点で評価のうえ、合計点（0～6点）を算出（数値が高いほど良い）
なお、2025年度までは「体重」の測定記録がないため、「運動」「食事」「睡眠」「減酒」「禁煙」の5項目について各0～1点で評価し、合計点（0～5点）を算出する（数値が高いほど良い）
※8 健診結果および問診結果を基に、服薬治療者÷（服薬治療者＋服薬未治療かつ健康管理不良者）×100%により算出　（数値が高いほど悪い）
※9 健診結果を基に、腹囲とBMIの基準をともに超えた社員の割合を算出（数値が高いほど悪い）
※10 健診結果の検査項目４つ（血圧・血糖・脂質・肝機能）の内、1項目でも当社判定基準で、受診勧奨、受診指示に該当する社員を「健康管理不良者」として 定義しその社員割合を算出（数値が高いほど悪い）
※11 ストレスチェック結果を基にした素点換算法による評価点において、身体愁訴が1.高いもしくは2.やや高いであった社員割合を算出（数値が高いほど悪い）
※12 仕事へのエンゲージメント（活力、熱意、没頭）をどれほど有しているかを測る指標（2～8点で評価、数値が高いほど良い）　※全社員を対象としたストレスチェックで測定、測定人数4,313人、回答率98.9%
※13 自身の直近1か月のパフォーマンス（0～10で評価）を基にプレゼンティーズム損失割合を算出（数値が高いほど悪い）　※全社員を対象としたストレスチェックで測定、測定人数4,313人、回答率98.9%%
※14 欠勤が1年間に1日以上ある社員の割合を算出（数値が高いほど悪い）　※全社員を対象とした欠勤データより把握